

# 世界の気候区の更新

弊社教科書・地図帳が気温・降水量の典拠としている「気象庁データ2012年データ」および「理科年表 平成24年」において、気温・降水量の統計数値が大幅に更新されました。これに伴い、平成25年度用の教科書・地図帳においてもこれらを反映しておりますので、ご使用にあたりましてはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

	旧区分		新区分
①リオブランコ	Af (熱帯雨林)	→	Am (弱い乾季のある熱帯雨林)
②サンルイス	Am (弱い乾季のある熱帯雨林)	→	Aw (サバナ)
③ヤンゴン	Am (弱い乾季のある熱帯雨林)	→	Aw (サバナ)
④ウルムチ	BS (ステップ)	→	Df (亜寒帯湿潤)
⑤タシケント	BS (ステップ)	→	Cs (地中海性)
⑥アテネ	Cs (地中海性)	→	BS (ステップ)
⑦アラハバード	Cw (温暖冬季少雨)	→	BS (ステップ)
⑧ペキン	Dw (亜寒帯冬季少雨)	→	BS (ステップ)
⑨オイミヤコン	Dw (亜寒帯冬季少雨)	→	Df (亜寒帯湿潤)

**具体的な修正例** 旧:旧課程教科書, 新:新課程教科書

## ①リオブランコ

【旧世界を学ぶ高校生の地理 A p.60⑤】AfとAmをまとめて熱帯雨林気候として色分けしているの  
で、数値(グラフ)更新のみ。

## ②サンルイス

【新新詳高等地図 p.121-122】Amのハイサーグラフの事例として取り上げられているので、都市を『マカパ』に変更した。ハイサーグラフはマカパのデータで作成。気候区分の地図は◎サンルイスを削除して、◎マカパを記載するよう修正。

## ③ヤンゴン

【旧高等学校世界地理 B p.21⑥】ハイサーグラフを新データで更新し、ヤンゴンの文字下の地色をAmの色からAwの色に修正。

## ④ウルムチ

【新高等学校新地理 A p.70①】Dfとして雨温図を更新。

## ⑤タシケント

【旧高等学校世界地理 B p.119⑨】雨温図を新データで更新し、文字下の地色をBSの色からCsの色に修正。

## ⑥アテネ

【新高等学校新地理 A p.55⑦】Csの事例として取り上げられているので、都市を『イラクリオン(クレタ島)』に変更した。雨温図(⑦図)はイラクリオンのデータで作成。温帯の分布図(⑥図)は○アテネを削除して○イラクリオン(クレタ島)を記載するよう修正。

【新新詳地理 B p.53B】Bの統計表をイラクリオンのデータで作成。アテネの写真をイラクリオン(クレタ島)のものに変更。

【新新詳高等地図 p.121-122】気候区分図から○アテネを削除。

## ⑦アラハバード

【新新詳地理 B p.54③イ, p.60③】p.54③イの雨温図・ハイサーグラフを『コワンチョウ』に変更して作成。p.60③温帯の分布図で●アラハバードを削除。

## ⑧ペキン

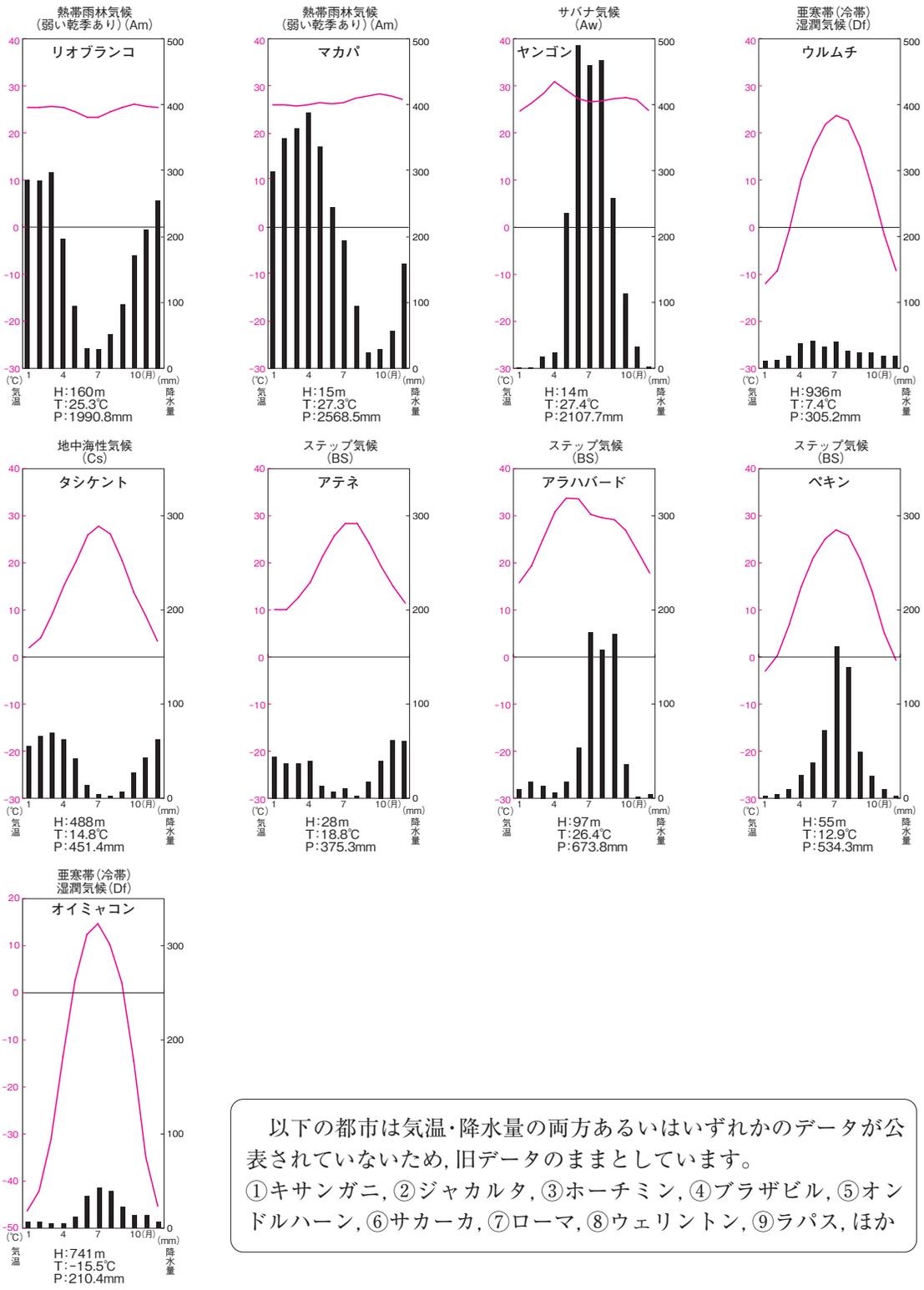
【新高等学校新地理 A p.70②】BSとして雨温図を更新。文字下の地色をDwの色からBSの色に変更。

## ⑨オイミヤコン

【旧世界を学ぶ高校生の地理 A p.66⑤, p.58①】p.66⑤雨温図を新データで更新し、文字下の地色  
をDwからDfの色に修正。P.58①ケッペンの気候区分図から○オイミヤコンを削除。



●新しい統計による雨温図〔理科年表 平成24年, 気象庁2012年データ〕



以下の都市は気温・降水量の両方あるいはいずれかのデータが公表されていないため、旧データのままとしています。  
 ①キサンガニ, ②ジャカルタ, ③ホーチミン, ④ブラザビル, ⑤オンドルハン, ⑥サカーカ, ⑦ローマ, ⑧ウエリントン, ⑨ラパス, ほか